

2008 年(平成 20 年)度 事業計画書

施設名:江東区東陽子ども家庭支援センター

事業の内容と展開	1 ひろば事業（遊びふれあいのひろば） ○ 親子で遊ぼう ○おはなし会 ○青空ひろば ○母の輪タイム ○わかばの集い 2 体験学習事業（学びあいのひろば） ○ 母親講座 ○父親講座 ○ベビーマッサージ ○わらべうたで遊ぼう ○ 講習会（手作り絵本・お茶・リラクセーション） 3 相談事業（支えあいのひろば） ○ ふれあい相談 ○電話相談 ○面接相談 ○専門相談（発達・心理・家族問題） ○ グループ相談・助産師相談 4 子どもの成長を共に喜び合う（育て合いのひろば） ○ 誕生日会 ○すくすく成長記録 ○入園を祝う会 ○ふたごちゃんの集い 5 情報提供事業（わかちあいのひろば） ○ センターだより「東陽みずべ かわらばん」毎月発行 ○ 子育て関連・地域・リサイクル情報 ○ ホームページでの情報発信・メールでの問い合わせ受付 ○ 交流掲示板（利用者同士の声） 6 人材育成事業 ○ 各種研修の開催（子ども家庭相談研修・子育てボランティア養成講座） ○ 自主グループへの支援・協力 7 自主活動 ○ みずべ会議（利用者とボランティアを含めた自主企画運営会議）の充実 ○ ケーキサークル（年間 5 回） ○ すいすいクラブ（年間 4 回発行） 8 リフレッシュ時保育事業 ○ ボランティアの協力を得て、理由の如何にかかわらず、安心してこどもを預け、母親自身の時間をつくれるようサポートする。	事業目標・方針と展開	目標 <共に生きる・共に育てる> 1 私たちは、地域の子どもとその家族一人ひとりが、神に愛され、生かされているという事実に立って事業を行います。 2 私たちは、地域の子どもとその家族一人ひとりの人格と個性を尊重し、子ども達が心身ともに健やかに育つ街や社会を作ることを目指します。 3 私たちは、センターがそこに集うすべての子どもと大人にとって、安全で安心、大切にされていると感じることのできる場となるように日々努力します。 4 私たちは、地域の子どもとその家族か抱える問題を受け止め、よりよい解決に向えるよう、専門性に基づき対応します。 5 私たちは、地域の人々や他の専門機関と連携して、子どもとその家族のニーズにあわせて、必要な支援を行うことに努めます。 方針 1 ひろば活動の充実 ・ 親子と出会った時、相手の心にもふれることが、かかわりの出発点であり、個々の来所者が何を求めてここにいるのかを考え、きめ細かい対応を心がける。 ・ 母親、父親のもっている知識、特技、趣味などを、広場で発揮できる機会を作り、親達の生き生きとした活動をサポートしていく。 ・ 親同士の繋がりが豊かになるよう、特に新規来所者や一人で来ている人へのサポートを心がける。先輩の利用者の協力を得ながら次の来所へと繋げる。 ・ みずべ会議やアンケート調査等の充実を図るとともに、日常の会話の中からも来所者のニーズをとらえ、ひろばの環境づくりや、プログラムの内容等について利用者、ボランティアと共に検討、実現できるようにしていく。 ・ 地域の保健所・助産師・児童館などの協力を得、センターの広報活動を活発にしていく。 2 相談活動の充実 ・ 気軽に子どもや家庭について相談ができる場を提供し、安心した中での子育てと子どもの育ちの支援を図る。 ・ 親自身の力を信じ、その判断を尊重し、隣に寄り添う姿勢をもつ。 ・ スタッフミーティングにより、個々の家族が抱える問題の整理と支援の方向性を共有する。 ・ 専門相談員とのケースカンファレンス、スーパーバイザーとのケース会を定例で行い、問題を見極め、支援の方向性を探る。 ・ 相談ケースに応じて南砂子ども家庭支援センターと協力の基、訪問・関係機関への聞き取り・必要な関係者会議を行い、養育困難な家庭を地域で支えていく。 ・ ファミリーサポート事業（社会福祉協議会）との連携を図る。 3 ボランティアとの共同 ・ 子どもと家庭に優しい街づくりを目指し、広く地域に開かれたひろばをつくっていく。 ・ 保育専門学校や地域の中学・高校等にセンターの活動を伝え、ボランティア募集を積極的に行う。 ・ 実習生を受け入れ、若い世代が、こどもと家庭の現状を理解し、今後の支援に繋げていく。 ・ リフレッシュ時保育の担い手を養成し、必要な預かりを、安心して形で行えるようにする。
	ネットワーク事業の展開 1 運営協議会・子ども家庭支援に関係する機関や地域住民との積極的な地域ネットワークづくりを推進する。 ○ 児童相談所・保健所・福祉事務所・助産師会との連携 ○ 公私立保育園・児童館・幼稚園・学校との連携 ○ 保育室・保育ママ・ファミリーサポート事業との連携 ○ 出張子育てひろば・相談（ひまわり城・にこにこひろば） ○ 地域懇談会（地区民生児童委員を中心に） ○ 運営協議会の定期開催 2 相談ケースに応じた関係者会議の開催及び出席 3 児童相談所とのケース会議 4 区内の雲柱社各施設との協力・連携を深める		職員構成 ○センター長 1 名 ○子ども家庭支援ワーカー 3 名 ○保育支援ワーカー 2 名 ○子ども家庭支援ワーカー 1 名（非常勤） ○地域活動ワーカー 1 名（非常勤） ○保育支援ワーカー 1 名（非常勤） ○専門相談員（月 1 回）発達相談 心理相談 （月 2 回）家族相談 スーパーバイザー 主な行事 ・ 誕生会（毎月） ・ ふたごちゃんの集い（年 3 回） ・ こどもの日 江東こどもまつり（5 月） ・ 七夕 水あそび こども服等リサイクル（7 月） ・ みずべまつり（11 月） ・ クリスマス会（12 月） ・ ひなまつり 入園を祝う会（3 月）
環境整備	1 0～3 歳位の異年齢の子どもが、安心して好きな遊びを楽しめるような環境づくりを心がける ○ 利用者・ボランティアの参加による環境・手作り遊具の整備 ○ 清潔で安全なひろば ○ 子どもにとっても親にとっても、自分の居場所となるような人間関係をつくれるような配慮 2 絵本・遊具・図書・情報資料の充実を図る ○ 絵本紹介・貸し出し図書のすすめ ○ 新しい情報（区内関係機関情報等） 3 室内だけではなく、一緒に戸外遊びを楽しむ 4 室温管理に注意する。室内の装飾等は家庭的な穏やかで温かい雰囲気大切に 5 駐輪場の清掃	職員構成	○センター長 1 名 ○子ども家庭支援ワーカー 3 名 ○保育支援ワーカー 2 名 ○子ども家庭支援ワーカー 1 名（非常勤） ○地域活動ワーカー 1 名（非常勤） ○保育支援ワーカー 1 名（非常勤） ○専門相談員（月 1 回）発達相談 心理相談 （月 2 回）家族相談 スーパーバイザー 主な行事 ・ 誕生会（毎月） ・ ふたごちゃんの集い（年 3 回） ・ こどもの日 江東こどもまつり（5 月） ・ 七夕 水あそび こども服等リサイクル（7 月） ・ みずべまつり（11 月） ・ クリスマス会（12 月） ・ ひなまつり 入園を祝う会（3 月）
主な研修	・職場内研修 ・法人主催研修（経験年数別・ブロック別） ・東京都子ども家庭支援センター自主研究会 ・こどもの虐待防止センター主催研修会 ・東京都主催研修各種 ・東京都精神福祉保健センター研修 ・子育てセンター実践研究会実践交流セミナー ・こころの健康財団精神保健講座		